

## 要 望 書

1997年7月10日

衆議院環境委員会

委員長 佐藤 謙一郎 先生

札幌市中央区北3条西11丁目加森ビル

社団法人 北海道自然保護協会

会長 俵 浩 三

(011) 251-5465

私たち、(社)北海道自然保護協会は、北海道における自然保護思想の啓蒙、普及や具体的な自然保護活動を行っている団体です。私たちは、この度、衆議院環境委員会の先生方が大雪山国立公園の視察として、然別湖周辺を訪れると聞き及びました。そこで、ぜひとも下記の点についてご視察いただき、私たちとお会いいただけるお時間をお取りくださるよう、お願いする次第です。

然別湖周辺では、北海道道「士幌然別湖線」(通称・士幌高原道路)が、昭和47年から残り2.6キロメートルの工事を中断したまま、現在に至っております。これは、道路予定地が日本でも極めて貴重な自然・環境に溢れているためです。しかし、平成5年に未開削部分をすべてトンネルとして道路を建設することが計画され、平成7年には、環境庁長官から、このトンネルルートをもって「大雪山国立公園公園計画の変更決定」がなされました。北海道は現在、このトンネルによる「士幌然別湖線」の道路建設を公園事業として執行承認の申請をするため、準備をしているところです。

そこで、今回のご視察にあたり、ぜひとも、環境委員会の先生方に、この「士幌然別湖線」のトンネルルート建設予定地を訪れていただき、その不思議な自然に触れていただき、私たちの切なる願いをご理解いただけるよう、下記の要望をするものです。

## 記

- ① 道路予定地がもつ「不思議な自然」についてぜひご覧いただけますようお願いいたします。それは、日本最大級の風穴地帯における風穴現象と、これが氷河期から生き残った種々の生物を育む、低温・湿潤な環境を形成している点です。

この環境のため、標高800メートル程度において、ガンコウラン、コケモモ、イソツツジをはじめとする高山植物、スギバミズゴケなどのミズゴケ類、ハナゴケ類などの高山性地衣類や、ナキウサギ、マツダタカネオニグモなどの高山性動物の生息が確認されており、これらの自然を、ぜひご観察ください。

このような場所は日本では他に類を見ないものと、私たちは信じております。

環境委員会の先生方がご視察のおりには、この地域を長年にわたり研究している佐藤謙北海学園大学教授（植物生態学・北海道自然保護協会副会長）にご説明させていただきますようお願いいたします。

- ② 視察の場所ですが、ぜひとも、然別湖畔側のトンネル出入口周辺、及び冷気が吹き出す風穴地帯の中をご覧いただきたくお願いいたします。このような風穴地帯、は道路予定地のみならず、然別湖周辺の山域に広く分布していますが、容易に観察できる場所としては湖畔の温泉から至近距離にある、駒止湖遊歩道でご覧いただけます(別図)。

以上

## 要 望 書

1997年7月10日

衆議院環境委員会

藤 木 洋 子 先生

札幌市中央区北3条西11丁目加森ビル

社団法人 北海道自然保護協会

会長 俵 浩 三

(011) 251-5465

私たち、(社)北海道自然保護協会は、北海道における自然保護思想の啓蒙、普及や具体的な自然保護活動を行っている団体です。私たちは、この度、衆議院環境委員会の先生方が大雪山国立公園の視察として、然別湖周辺を訪れると聞き及びました。そこで、ぜひとも下記の点についてご視察いただき、私たちとお会いいただけるお時間をお取りくださるよう、願います次第です。

然別湖周辺では、北海道道「士幌然別湖線」(通称・士幌高原道路)が、昭和47年から残り2.6キロメートルの工事を中断したまま、現在に至っております。これは、道路予定地が日本でも極めて貴重な自然・環境に溢れているためです。しかし、平成5年に未開削部分をすべてトンネルとして道路を建設することが計画され、平成7年には、環境庁長官から、このトンネルルートをもって「大雪山国立公園公園計画の変更決定」がなされました。北海道は現在、このトンネルによる「士幌然別湖線」の道路建設を公園事業として執行承認の申請をするため、準備をしているところです。

そこで、今回のご視察にあたり、ぜひとも、環境委員会の先生方に、この「士幌然別湖線」のトンネルルート建設予定地を訪れていただき、その不思議な自然に触れていただき、私たちの切なる願いをご理解いただけるよう、下記の要望をするものです。

## 記

- ① 道路予定地がもつ「不思議な自然」についてぜひご覧いただけますようお願いいたします。それは、日本最大級の風穴地帯における風穴現象と、これが氷河期から生き残った種々の生物を育む、低温・湿潤な環境を形成している点です。

この環境のため、標高800メートル程度において、ガンコウラン、コケモモ、イソツツジをはじめとする高山植物、スギバミズゴケなどのミズゴケ類、ハナゴケ類などの高山性地衣類や、ナキウサギ、マツダタカネオニグモなどの高山性動物の生息が確認されており、これらの自然を、ぜひご観察ください。

このような場所は日本では他に類を見ないものと、私たちは信じております。

環境委員会の先生方がご視察のおりには、この地域を長年にわたり研究している佐藤謙北海学園大学教授（植物生態学・北海道自然保護協会副会長）にご説明させていただきますようお願いいたします。

- ② 視察の場所ですが、ぜひとも、然別湖畔側のトンネル出入口周辺、及び冷気が吹き出す風穴地帯の中をご覧いただきたくお願いいたします。このような風穴地帯、は道路予定地のみならず、然別湖周辺の山域に広く分布していますが、容易に観察できる場所としては湖畔の温泉から至近距離にある、駒止湖遊歩道でご覧いただけます（別図）。

以上